

若さと行動力、地元目線で課題の解決、活性化を図ります。

2021.8.9



学生と相浦地区のフィールドワークに取り組みました。

2021.8.15



総合グラウンドで精霊流しの会場設営を行いました。

2021.8.21



佐々町議会を訪問し、淡田議長・平田副議長と意見交換。

2021.9.3



今夏も学生の議員インターンシップを受け入れました。

2021.9.11



住宅裏のがけ崩れの現場を視察、対策工事を要望しました。

2021.9.28



朝の交通安全運動。子ども達の登校を見守っています。

2021.10.9



総務副委員長として消防施設の落成式に出席しました。

2021.12.21



佐世保私立幼稚園協会の皆様と市長に要望を行いました。

新型コロナウイルス関連の各種支援策（法人・個人対象）

新型コロナウイルス禍で生活環境に大きな影響が出ています。困った時の支援メニューも様々たくさんあります。ぜひお役立てください。



政府の支援策



長崎県の支援策



佐世保市の支援策

日本郵便と包括連携協定を締結



2021.10.18 締結式

佐世保市に49の郵便局を有する日本郵便株式会社と本市が包括連携協定を締結しました。今後は、住民サービスの向上や地域での見守り、防災、地域活性化等、郵便局と行政との相互連携による様々な施策が期待されます。

させぼ山手研究会が発足



2021.12.16 勉強会

佐世保市の斜面地に建つ家屋の現状や今後の活用を考える研究会が発足し、私も発起人の1人として参加しています。佐世保の地域性や持続可能な産業の創造も研究テーマです。引き続き、斜面都市佐世保の将来を考えていきます。

ふじまるの#つぶやき

2021年10月15日、母校の長崎県立大学佐世保校でゲスト講演を行わせていただきました。テーマは現代社会と政治。新型コロナウイルス禍で日頃の学生生活や将来の進路に悩み、苦しむこともあると思いますが自分たちの未来は自分たちの意志と行動で決まると訴えました。佐世保市の課題について、学生から鋭い質問もあって私も学ばせていただき、貴重な機会を頂戴したことに感謝しています。



《プロフィール》 たやま ふじまる 佐世保市議会議員 田山 藤丸

- 1989年7月23日生まれ(32歳)
- 長崎県立大学経済学部地域政策学科 卒業
- 佐世保市議会議員(1期目・29歳で初当選)
- 総務委員会 副委員長
- 議会運営委員会 委員
- 石木ダム建設促進特別委員会 委員
- 会派:自民党市民会議
- 相浦青年会、消防団第26分団、保護司等
- 佐世保私立幼稚園協会 顧問
- 佐世保私立幼稚園 PTA 連合会 会長
- 自由民主党佐世保支部 青年部長
- 妻、2男、1女と愛宕町在住

ふじまる通信

佐世保市議会議員

まちを繋ぎ
ゆめを育む
若い力。



公式HP



【田山ふじまる事務所】長崎県佐世保市相浦町 220 TEL/FAX 0956-59-8762 携帯:080-1795-6159

《2021.12.8》12月定例議会 一般質問



田山 藤丸 朝長市長 中島企画部長

IR 構想と本市のまちづくりについて

田山: 佐世保市の未来を見据え、地域の諸課題の解決を図りながら持続可能な発展を目指すため、IRのカジノ納付金等については、人材を育成する高等教育機関の機能強化や、地元業者の競争力の育成など、新たな産業を生み出す後押しへ充当していくべきではないか。

朝長市長: IRのカジノ納付金等の活用は、IRの誘致推進が佐世保市の10年、20年先、さらに未来の佐世保の振興のための取組であることから、地域の持続的な成長を促すような施策への活用を考えていきたい。

田山: IR事業が軌道に乗った際にはIR区域周辺だけではなく、市全域へ事業効果を波及させると共に、県北地域の核としてその効果を上げ、西九州させぼ広域都市圏のエリアについても活性化を図っていくべきではないか。広域的なまちづくりについて本市の見解を伺う。

朝長市長: IRの事業効果を上げていくことは、西九州させぼ広域都市圏の中心市として、さらに県北エリアのけん引役として役割を果たしていくことが重要である。このため、とくに期待されるIRを軸とした広域周遊観光の推進や地元調達の促進に向けた取組も含め、市域を越えた地域の活性化も図っていきたく考えている。

本市における離島振興について

田山: 2023年3月に期限を迎える離島振興法の延長に向けて、意見書の策定等が進められてきた。宇久・黒島・高島等の有人離島を有する本市も、離島振興法の改正後、来年度以降に離島振興計画の策定に着手する予定と伺っている。そこで、本市の離島振興を取り巻く現状と当局の考え方についてお聞きする。

企画部長: 今後の離島振興策に関する本市の意見として移動販売への支援や災害時の生活物資搬送にかかる特例措置等を盛り込むよう県・国に要望している。法整備後の離島振興計画の作成にあたっては、地元や市議会からのご意見をお聞きした上で、各離島が抱える諸課題を精査し、実効的な施策を展開したい。



今回の一般質問の録音中継は、左のQRコードよりご覧いただけます。

2022年 新春のご挨拶

新しい年がスタートしました。皆様には日頃より一方ならぬご厚情を賜り、深く感謝申し上げます。市議会議員に初当選させていただき、早いもので残りの任期も1年弱となりました。私事ですが、昨年7月に第3子が誕生し、子どもを育てる若手議員として、また地域に密着した活動を目指し、自らの役割と責任を考えながら邁進しています。この間、多くの出会いや学びをいただき、市政での成果も少しずつ見えてきました。依然として、新型コロナの影響から先行きが見えにくい状況が続いていますが、今後も現場目線で市民の皆様の声を聞き、さらに将来の佐世保市を見据えながら政策提案に取り組む所存です。本年も変わらぬご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。結びに、皆様のますますのご健康とご隆盛を心よりお祈りいたします。

田山 藤丸 拝

離島 news (高島・水産加工場編)

2021年10月、佐世保市の離島「高島」に最新鋭の水産加工場が建設されました。

岐阜県の企業「株式会社ACS」の重村友介社長が、亡き父の故郷である高島を活性化すべく開設したもので、県内外から注目を集めています。

この水産加工場は遊休化した漁港用地の規制緩和を活用し、公募手続きを経て立地が実現。全国で民間初、離島での水産庁特定漁港用地の利用という先進事例になりました。今後は、水産加工場を起点に、高島観光協会の設立や新たな地域の商品開発、漁業体験等、観光面での活性化に向けた動きも始まります。

離島は全国の縮図。今、離島が抱えている課題は近い将来、地域全体が直面していくことになるはず。引き続き、皆様と連携して取組みを進めます。



完成した水産加工場



水産加工場の上棟式



重村社長と朝長市長

佐世保市動物愛護センターが開所



2021年10月、佐世保市動物愛護センターが大潟町に完成し、供用が開始されました。すでに犬や猫の譲渡会も始まっており、多くの方が訪れているとのこと。人も動物も暮らしやすいまちに向けた取組が図られます。

魚市場背後地の水産加工団地整備



佐世保魚市場（水産市場）の背後地で、水産加工団地の整備が進んでいます。道路工事や区画整理等が行われており、令和3年度末に分譲が開始され、今後の企業誘致と雇用の創出、地域の活性化が期待されています。

地域の声を行政に届けています!!



例① 新田団地、未舗装の危険な歩道の舗装工事が完了



例② 相浦保育園前、横断歩道付近に新たな路面標識

これまで地域の様々な課題について、ご相談やご要望をいただきました。道路や側溝等の改良、通学路の安全対策、がけ崩れ防止、災害復旧等、内容は多岐にわたります。引き続き、行政との架け橋として、市民の皆様と共に考え、地域課題の解決に粘り強く取り組みます。何かお困り事がございましたらお気軽にご連絡下さい。

何かお困り事がございましたらお気軽にご連絡下さい。

大崎分校・高島分校の存続を要望

2021年10月13日、相浦地区の皆様やPTA、溝口県議をはじめ地元議員で、相浦西小学校大崎分校と相浦小学校高島分校の存続を朝長市長、山口副市長、西本教育長に要望しました。両分校は離島半島地域にあり、子どもたちの教育施設としての機能のみならず、地域唯一の防災拠点、コミュニティの中心として重要な役割を果たしています。現在、佐世保市教育委員会が検討中の学校再編方針案については、令和3年度末に一定の方向性が示される予定です。



長崎県立大学佐世保校キャンパス整備

建替えが進む長崎県立大学佐世保校では、すでに管理棟や食堂棟が完成し、現在は「地域交流棟」の工事が行われています。最終的な完成は2024年の予定です。

新キャンパスの完成予想図



中央公園再整備の進捗状況

2021.12.21 現在



名切・中央公園リニューアル事業

佐世保市は民間の資金やノウハウを使って中央公園の再整備に取り組んでいます。この手法は「Park-PFI 制度」と呼ばれ、中央公園の場合は、庭建パークマネジメント株式会社に公園整備と管理運営を委託しました。日帰りや泊まりのキャンプができ、手ぶらでも道具を借りてバーベキューを楽しめる3種類のキャンプ場、市内の洋菓子店によるカフェやキッチンスタジオ、地元食材を使ったテイクアウト専門のフードコート、コンビニや家族向けのレストラン、子どもたちの屋内遊び場等が一体的に整備される計画です。

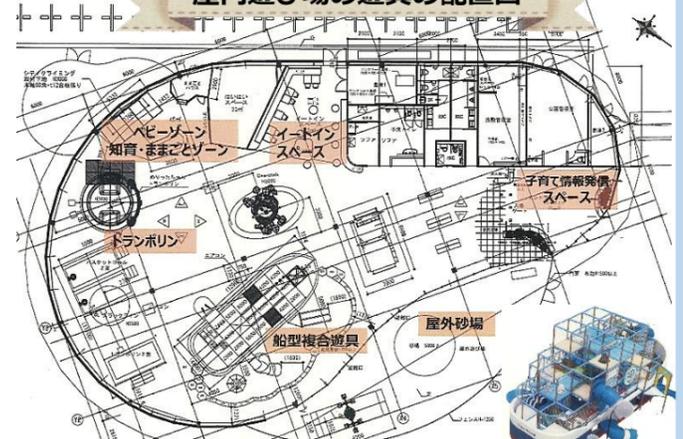
全体の施設配置



2022年4月オープン予定

自由提案施設名	運営事業者	業態
①キャンプ場	株式会社庭建 株式会社縣北衛生社	・バーベキューサイト（(株)庭建） ・デイキャンプサイト（(株)庭建） ・オートキャンプサイト（(株)縣北衛生社） ・地域物産、カフェ運営（さいかい堂） ・BBQ サイト、デイキャンプサイトの利用案内、備品レンタル（(株)庭建） ・キッチンスタジオ（(株)庭建）
②コアイノベーション施設	さいかい堂 株式会社庭建	ファミリーレストラン ジョイフル
③飲食店	株式会社ひぐち	・テイクアウト専門の食物販店。 ・6店舗分の食物販店、チャレンジショップ、簡易物産店を整備。
④パークダイナー	株式会社庭建	コンビニエンスストア セブンイレブン
⑤売店	株式会社セブンイレブン・ジャパン	

屋内遊び場の遊具の配置図



屋内遊び場の中には、子育て世代から要望のあったイートインスペース、体を動かせる遊具、特注の船型複合遊具等が配置される予定です。

《2021.9.15》9月定例議会 一般質問



子どもたちの学びを守る取組について

田山：新型コロナが収まらない中で、本市の小中学校等では新学期が始まっているが、最近のデルタ株は感染力が強く、子どもたちへの感染事例も急増し、学校へ登校させるかの判断を含め、保護者の心配は尽きない。本市でも9月1日以降、既に学級閉鎖、学年閉鎖や学校でのクラスター感染が発生した。そこで、学級閉鎖や一斉休校を余儀なくされる場合を含め、新型コロナの感染拡大防止と学びの保障の両立について今後の方針を伺う。

教育長：市立中学校でのクラスターが確認された直後の9月10日には、感染の不安等で登校を控えている児童生徒は全体の0.9%、184名に上った。このような状況の中、感染防止対策と学びの保障の両立は、緊急かつ重要な課題と認識している。子どもや保護者の不安については、家庭の意向を確認しながら安心して過ごせるよう配慮し、家庭でも学びの保障ができるよう、学年の発達段階や学びの特性に合わせ、一人一台端末を使った学習と紙媒体を使った学習を効果的に活用し、感染拡大防止と学びの保障を両立させていきたい。

郵便局との包括連携による取組について

田山：郵便局は地域におけるユニバーサルサービスの担い手である。その一方で、郵便局も少子高齢化や人口減少、メールやSNS等の台頭によって、利用者や取扱い件数は減少傾向だ。そんな中、郵便局事務取扱法の改正により、これまで可能であった証明書交付事務などに加えて電子証明書の発行、更新等に係る事務が新たに郵便局で実施できるようになった。そこで、本市においても包括連携の進捗状況を確認しながら、市役所や行政支所が行っている事務手続など、市民サービスの一部を郵便局でも行えるようにする包括受託事務の取組について研究、検討を行うべきではないか。

行革推進局長：今後、人口減少下において、限られた行政資源でサービスを維持していくには、デジタル化による効率化とともに民間の資源を有効に活用した官民連携を推進していくことが肝要である。デジタル化は、来庁せずに手続きが可能なオンライン申請を9月からスタートしている。郵便局と連携した住民サービスの提供は業務委託であり、相応の費用負担が発生する。そのため、導入には市民の利便性、費用対効果の両面から判断

する必要があり、他自治体の導入事例を研究しつつ、郵便局との意見交換を継続的にしたい。



今回の一般質問の録画の中継は、左のQRコードよりご覧いただけます。